

平成 27 年 11 月 6 日

各 位

雪印メグミルク株式会社
代表取締役社長 西尾啓治

平成 28 年 3 月期第 2 四半期 決算短信発表にあたり

当期におけるわが国経済は、緩やかな景気回復基調が継続しておりますが、一部に弱さもみられます。個人消費は総じて底堅い動きとなっており、食品業界においても、昨年来の円安による原材料価格の高騰に伴い、値上げが相次ぐなど物価が上昇する中でも、消費支出は堅調に推移しています。

このような経営環境の中、当期においては「雪印メグミルクグループ中期経営計画（平成 26 年度～平成 28 年度）」に基づき、需要の拡大と競争力の強化に取り組み、チーズやヨーグルトなどの主力商品の拡売、生産性の向上によるローコストオペレーションの実現、ならびに販売価格の見直しによるコストアップへの対応等により、収益力の向上に努めました。特に、機能性表示食品としてリニューアル発売した「ガセリ菌 S P 株ヨーグルト」は、積極的なマーケティング投資や販売活動の強化などが寄与し、物量が大きく伸長いたしました。

その結果、当期の連結売上高は 2,906 億円（前期比 105.0%）、連結営業利益は 75 億円（前期比 148.3%）と増収増益となりました。また、阿見工場に生産移管を終えた旧関西チーズ工場および旧横浜チーズ工場の跡地を売却したことによる固定資産売却益の計上などにより、親会社株主に帰属する四半期純利益は 117 億円（前期比 511.8%）となり、大幅な増益となりました。

下期につきましても、中期経営計画で掲げた「事業構造改革」、「戦略投資設備の最大活用」「成長分野の事業拡大」「機能強化と体制整備」の 4 本の柱を着実に実行し、目標達成に向け取組みを強化してまいります。

また、役職員一同、引き続き、コンプライアンスと品質管理の徹底を図り、CSR 経営を積極的に推進してまいります。

今後とも、これまでと変わらぬご支援を賜りますよう、よろしく願い申し上げます。

以 上